

[年賀状の準備、Windows 10 秋の大型更新 の概要]

2018年11月24日 河出 修

[年賀状の準備]

1. 「筆まめ」について

年賀状や暑中見舞い等は、パソコンで作成・印刷するのが当たり前の時代になってきました。今回は「筆まめ」の「Ver.27」を取り上げて年賀状作成の基本的なことを説明します。

2. 「筆まめ Ver.27」の起動

- 「筆まめ Ver. 27」のショートカットをダブル・クリックする。
- 「オープニングメニュー」画面が表示される。→「宛名面を作る」をクリックする。



3. 差出人の登録

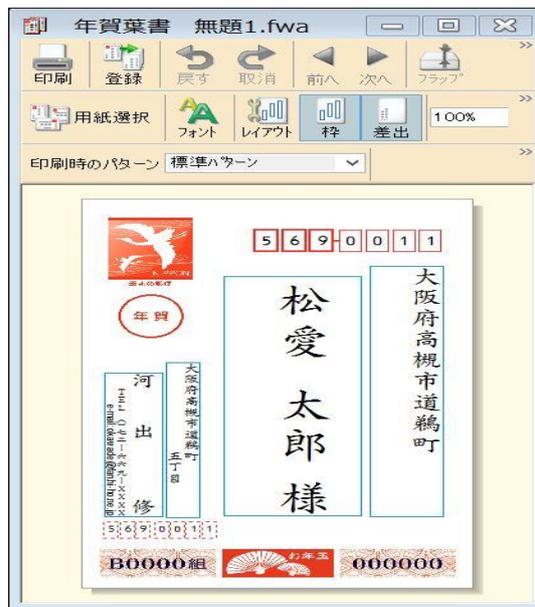
- 「宛名面を作る」タブ → 「差出人を作成・編集する」ボタンを押す。
- 差出人の住所、氏名、電話番号、E-mail等を登録する。
- 差出人は5種類登録でき、その中から選択できる。(個人、夫婦連名等)

4. 宛名の登録

- 「宛名面を作る」タブ → 「新しい住所録を作る」か「保存した住所録を開く」ボタンを押す。
- 「氏名(N)」欄に氏名を入力し、「敬称(K)」を選ぶ。(フリガナは自動付与される。)
- 「〒(Z)」欄に郵便番号を入力すれば、「住所1(1)」に自動変換される。「住所1(1)」の後部、または「住所2(2)」に続きの住所を入力する。

●宛名入力画面

●宛名印刷イメージ



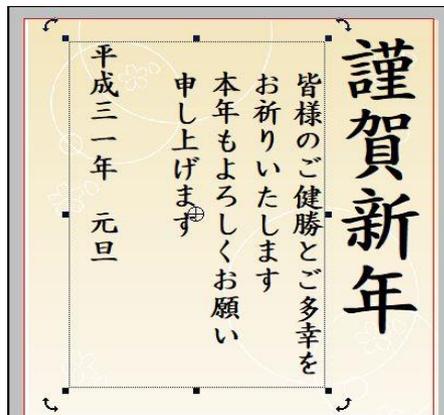
5. 「デザイン面を作る」を開く。

- 「デザイン面を作る」をクリックする。

6. 背景の設定

- 「デザイン面を作る」タブ → 「収録サンプルから開く」ボタンを押す
→ 「筆まめカテゴリ」タブを押し → 「03 年賀背景(縦)」を開く
→ 「背景(縦)」を開くと「背景画」が表示される。 → 「好みの背景」を選択する。

7. 文面ファイルへの文字入力



- 「文字・文章の入力」欄の中の「文章」を選び、入力範囲を設定する。
- フォントや文字サイズ等を設定する。
- 設定した入力範囲に文章を入力する。
- 入力範囲が「イラスト・写真」と重なる場合は「重なり順」→「最前面へ」に設定する。
- 「定型文章」を利用することもできる。
 - 文章が苦手な人も安心。「定型文章」を多数収録。
 - 年賀状に添える一言の文例「定型一言」を100点収録。

8. 文面データへのイラスト、写真入力



- 「画像の貼り付け」欄の中の「イラスト・素材ボックス」を選ぶ。
- 入力するイラストまたは写真を選択し、ダブルクリックで取り込む。(左上に取り込まれる)
- イラスト、写真の位置を調整すれば完了です。
- 「イラスト・写真」文章と重なる場合は「重なり順」→「最背面へ」に設定する。
- 写真加工用新機能
 - たくさん写真をセンスよく演出！「フォトコラージュ」
 - 写真がかんたんに切り抜ける！「フォトカッター」
 - 「クロンブラシ」
 - ・複数写真の「いいところ」を取って別の写真に貼り付け
 - ・余分なものが簡単に消せる
 - 写真をおしゃれに加工できる！「筆まめフィルタ」
 - 写真をキレイに補正・加工！「筆まめレタッチ」

- 内蔵イラストや写真で満足できない場合は、インターネットのダウンロードサイトを利用可能。
(ただし、ダウンロードサイトには「有料」の場合があるので注意が必要)
- 無料のダウンロードサイトの例 (Canon Creative Park)
<http://cp.c-ij.com/jp/categories/CAT-ST01-0174/top.html>

9. 文面ファイルの保存

- 「保存」ボタンを押すと、上書き保存される。
- 「ファイル」 → 「名前を付けて保存」 → 「保存場所」と「ファイル名」を指定する。

10. 他形式の住所録ファイルの変換

- 「宛名面を作る」タブ → 「他形式の住所録を開く」ボタンを押す。
- 「筆王」、「筆ぐるめ」の変換や「他の形式」の変換が可能。
・「他の形式」→「Excel」、「Outlook」、「筆自慢」、「宛名職人」、ウインドウズアドレス帳 等が変換できる。

[Windows 10 秋の大型更新 の概要]

1. 「Windows 10 秋の大型更新」の正式名称は「Windows 10 October 2018 Update」です。
 - 「Windows 10 October 2018 Update」は 2018 年 10 月 2日に配信が開始された。
 - 配信開始後すぐにファイルが消えるというトラブルがあり、配信停止になった。
 - 10月9日に修正版が公開され、11月13日に配信が再開された。
2. 「Windows 10 October 2018 Update」の主な新機能
 - (1) スマートフォンとの連携強化
 - ・「同期電話 (Your Phone)」アプリが提供され、スマホ側の写真やSMSにPC側から直接アクセスが可能。
 - ・スマホとリンクした後、同期電話アプリを立ち上げると、スマホ内の画像ファイルが表示される。
この画像はPC側で、すぐに利用可能で、削除してもスマホ側には影響がない。
 - ・スマホ側に「スマホ同期管理 (Your Phone Companion)」アプリをインストールする必要がある。
 - ・Androidのみの機能となっている。
 - (2) 標準画面キャプチャーは「切り取り領域とスケッチ」アプリに変更
 - ・[Windows] + [Shift] + [S]キーで、画面キャプチャー機能が起動し、画像はクリップボードに入る。
 - ・「切り取り領域とスケッチ」アプリは、キャプチャー画像を取り込み、ペンやタッチで描画が可能。
 - ・画面メモとして利用できる他、PNG形式での保存も可能。
 - ・また、画像ファイルを開いて描画することもできる。
 - (3) 画面の拡大率を変えずに文字を大きく表示可能に
 - ・画面の拡大率はそのままで表示テキストのみ拡大する機能が搭載された。
文字を最大225%まで拡大することができるが、最小は100%で文字を小さくすることはできない。
 - (4) 改良された「メモ帳」アプリ
 - ・「メモ帳」が改良され、標準の行末記号 (CR+LF) 以外にも対応できるようになった。
 - ・フォントを変更せずに表示文字の拡大縮小が行える「ズーム」機能、Bing検索機能、などが装備された。
 - (5) その他の改良点
 - ・エクスプローラのダークテーマ対応。(背景が黒)
 - ・内部的な変更点としては、ネットワークアダプター用のドライバー構造が変更された。
 - ・Microsoft Edgeでは、Learning Modeで英語辞書の表示が単語の上に行われるようになった。
(従来は右側のサイドバー上だった)
3. 「Windows 10 October 2018 Update」の評判
 - ・大型機能の導入がなかったが、「文字を大きく」、クリップボード履歴や同期などの便利な改良点がある。
 - ・取りあえず、「Windows 10 Ver.1803」が若干改良されたものになるようだ。
 - ・バージョンナンバーは「1809」になる。